

## Column

### 「中間地点での確認を確実に～PDCAサイクルのCを重視する～」

8月が中間決算の会社も多いのではないのでしょうか。私たちが半期や四半期でしなければならないことは、計画の進捗確認です。

PDCAは当たり前なことだ、と思われがちです。しかし、私たちはPとD、つまり計画と実行は上手にできますが、そのあとのチェック(C)が抜けがちです。

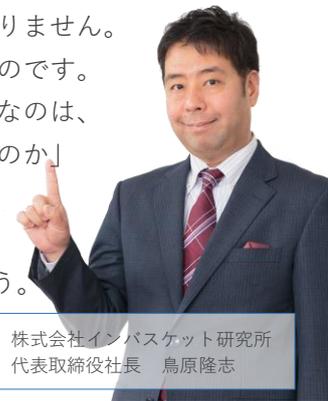
そもそも、計画を立てる最大の目的は「このままで目標を達成できるのか」を知ることです。計画より遅れていれば当然、目標達成できない可能性が高くなります。しかし、私たちは計画を実行

することに重点を置きすぎており、ややもすると計画を無理に進めることが目的になってしまうことがあります。

だからこそ、計画を一定の時期に確認し、必要であれば計画の修正をしなければなりません。その一定の時期が、半期や四半期なのです。

また、計画の修正をする際に大事なのは、「どうして計画通りに進まなかったのか」ということではなく、「この先どうするのか」ということです。

さあ、PDCAのCをやってみましょう。



株式会社インバケット研究所  
代表取締役社長 鳥原隆志

## 知っているようで知らない インバス 豆知識! その①

### インバケット思考に繋がる1分間スピーチの秘密

当社では朝礼時に持ち回りで「1分間スピーチ」を行っています。いかに周りに伝えるかというプレゼンテーション力を鍛えるものと思われがちですが、実はそれよりも大事な目的があるのです。それは**時間を意識すること**です。「1分間」という時間を守ることで、限られた時間の中で成果を上げるインバケット思考が鍛えられます。聞いているメンバーの貴重な時間を奪ってしまわないよう、時間を意識して1分で収めることが大切です。



今  
月  
の  
ミ  
ニ  
問  
題

**Q.** 当社の大阪本社の壁には、社内のコミュニケーションを活性化させるために、あるものを設置しています。それはいったい何でしょう？



解  
説

解説は...  
次のページへ



インバケット研究所と関わりの深い方々をご紹介します！

## interview サポートズインタビュー

森 恵子様 株式会社めでいあ森 代表取締役社長

インバケット研究所との関わりを含めて自己紹介をお願いします。

ライター・編集者を経て、現在は出版社および編集プロダクションの代表をしています。インバケット・コンサルタントである山口和久氏の『なぜ部下はついてこないのか』は弊社より出版させていただきました。今は、丸山広大氏のお原稿を拝見しています。

インバケット研究所との出会いを教えてください。

鳥原さんの3冊目のご著書『戦国武将のインバケット』（絶版になってしまいましたが、熱烈なファンも多いとか）を読んで感動！ Facebookで検索するといらしたのでメッセージを送り、しばらくしてお目にかかりました。

インバケットを初めて知った際の印象はどうでしたか？

衝撃的でした（笑）。経営者となって日が浅かったこともあり、経営についてこんなに面白く勉強ができるツールがあるのかと。小説仕立てでビジネス書を書ける鳥原隆志という人にも興味が湧きました。

編集をしていく中で気づいたインバケットの魅力はありますか？

メール形式でドラマ仕立てという問題の特徴は、出会った時も今も非常に魅力に感じます。その問題づくりの過程を間近で拝見すると、つくづく大変だなあとありますが、さらに興味と魅力が増しますね。



「まならば(旧インバケットの会)」にご参加くださっていますが、この会に参加されてみてのご感想を教えてください。

毎回、「脳に汗」をたっぷりかいています。汗の分だけ進歩したでしょうか、全く自信はありません。しかし、間違いなく深まっているのは終了後の交流会での親睦。共に苦難（！）と喜びを分かち合った大切なインバス仲間です。

## 知っているようで知らない インバス 豆知識! その②

### 実は理由があった！グループワーク4名の法則

当社のグループワークは、基本4名です。理由は、3名だと受講生が他の考え方を得るのに人数が少なすぎ、5名以上だとワークに参加しなくなる受講生が出るためです。役職者グループの場合は、職位でまとめていきます。これはグループワークで役職のパワーが影響しないようにするためです。プロジェクトなどのメンバー構成でも、今回ご紹介した法則を使ってみてはいかがでしょうか。



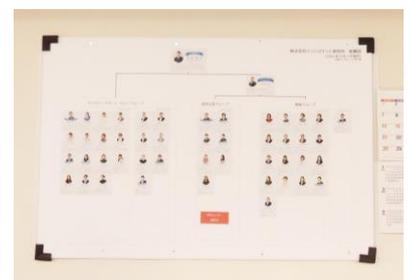
▲インバケット研修中の様子

今月のミニ問題

解説

正解は… 組織図 でした！

この案は当社で月に1回行われる「楽しい会議」の話し合いで生まれたものです。新しく入ってきた方々が全員の顔を覚えるのは難しいとの意見があり、今年の冬から一言コメント付きの組織図を壁に設置することになりました。今年の新入社員たちはこれを見て一生懸命覚えようとしていて、微笑ましかったです。



▲大阪本社4Fの壁の組織図

## interview 社員インタビュー 岸本 昌也

株式会社インバケット研究所  
カスタマーサポートグループ アシスタントマネジャー

### 趣味や休日の過ごし方を教えてください。

幼稚園から続けているサッカーです。今でも3つのチームに所属して、現役でプレーしています。あとは8月に家を買って、12月に第一子誕生予定なので準備でいっぱい입니다。

### カスタマーサポートグループはどんな部署ですか？

元銀行員や元劇団員などがいる個性派集団です。ただ物を売る営業ではなく、どうすればお客様のお役に立てるのか、もっといい方法はないのかを走りながら考える部署です。

### 現在の仕事のやりがい・課題について教えてください。

やりがいはやはりお客様からの「ありがとう」です。ただ、インバケットを知っている方はまだまだ限られており、もっと多くの方のステップアップをサポートすることが私達の使命です。



### 上司として心掛けていること・大切にしていることを教えてください。

現在22名の部署ですが、1人1人が夢を持ち、仕事を楽しむことを心掛けています。そのためには自分達自身がインバケット思考を体現し、お客様に自信を持ってお伝えし、向き合うことを大切にしています。

### インバケットの魅力について教えてください。

「インバケットの可能性は無限である」ことが1番の魅力です。どんな方でも完璧な方はいらっしゃいません。インバケットを通じて、自分の強み・弱みに気づき、なりたい姿を目指し、挑戦し続ける。このきっかけを創るインバケットを、もっと多くの方に届けていきたいです。

## Event イベント情報



▲2019年7月20日に行われた「スーパーまならぼ」の様子

### スーパーまならぼレポート

インバケットが好きなファンの方々が集まる勉強会「まならぼ」。7月は、今回は鳥原からの**厳しい振り返りがある**というご案内にも関わらず、26名の方がご参加になり、白熱した勉強会になりました。懇親会ではバーベキューに打ち上げ花火も重なり、大いに盛り上がりました。



### インバケット展示会のテーマ・ゲスト決定！

毎年行われているインバケット展示会の今年のテーマ・ゲストが決定いたしました！テーマは「点から線へ 持続性のある人材教育をインバケットでつなぐ」。ゲストは社団法人行動科学マネジメント研究所所長の石田淳氏です。新コンテンツの紹介や鳥原による研修など、盛りだくさんの内容になる予定です。みなさんのご来場を楽しみにお待ちしております。

**開催日**：2019年10月10日(木)・10月11日(金)

**時間**：10:00～17:00 (出入り自由)

**会場**：東京都江東区青海2-4-32

タイム24ビル1階・13階・17階  
(受付1階)

**入場料**：無料



### ▼判断力検定の ポスターと合格証

## 「判断力検定」受検者数、累計1000名突破！

2019年5月に初級を新設した判断力検定の累計受検者数が、1000名を突破いたしました。皆さま受検いただきありがとうございます。これからも、もっと多くの方に知っていただけるよう、努めていきます。

また、合格された方には合格証とピンバッジを送付させていただいています。合格された方しか手に入れることができない、レアグッズです！ぜひコンプリートを目指してみてください。

## 「Schoo」生放送、8月23日出演決定！



オンライン生放送授業を無料で受講できるサービス「Schoo」に、当社代表の鳥原が出演決定いたしました。テーマは「仕事を効率化する優先順位のつけ方-インバスケ思考-」。インバスケの基本的な解説から、優先順位設定の考え方を解説。なんと後半の質疑応答では、みなさんのコメントにリアルタイムで鳥原がお答えします！スマホ/PCからどなたでも無料で観ることができますので、ぜひご覧ください。

放送日時：2019年8月23日(金)20:00～21:00



## 17 編集後記

### 初めてのインターンシップ企画

7月に入り、新入社員が正式配属された企業が多いのではないのでしょうか？当社は今年5名の新入社員を迎え入れました。現在はインターンシップの企画と内定者フォローを担当してくれています。毎日色々な方に分からないことを聞きながら、成長していく姿を見ていると、来年の5人がどうなっているのが楽しみです！



SNSも更新中！  
フォロー&いいね  
宜しくお願いします！



@inbasket\_Lab



@inbasket



**INBAS**  
インバスケ研究所

発行元：株式会社インバスケ研究所  
カスタマーサポートグループ  
メール：houjin@inbasket.co.jp



データ版はこちらから↑